

日本分析化学会九州支部 2022 年度 第 2 回常任幹事会 議事録案

日時：令和 5 年 2 月 20 日（水）15:00 – 16:30

場所：Zoom によるオンライン開催

出席者（敬称略）：富安 卓滋（支部長），井上 高教（次期支部長），大平 慎一（副支部長），赤瀬 信一郎（副支部長），井原 敏博（監査），神崎 亮（庶務幹事），児玉谷 仁（会計幹事），（常任幹事）新垣 雄光，石川 洋哉，川上 健次，栗崎 敏，黒田 直敬（常任幹事・本部理事），高橋 幸奈，竹中 繁織，戸田 敬，浜瀬 健司，松田 直樹，松森 信明，（オブザーバー）江藤 真由美（次期庶務幹事），鈴木 絢子（次期会計幹事），浅田 泰（次期副支部長），末田 慎二（ANSC 編集委員），森 健（分析化学編集委員），松尾 隆司（次期常任幹事），佐藤 しのぶ（次期若手の会）

報告事項（担当者；敬称略）

1. 2022 年度支部事業経過報告（庶務幹事 神崎）資料
1) 若手の会事業完了報告（世話人 野間・宗，代理・神崎）資料
宗・野間世話人の代理として，庶務幹事より，2022 年度日本分析化学会九州支部若手の会の事業完了報告書が提示された。
2. 2022 年度支部会計中間報告（会計幹事 児玉谷）資料
児玉谷会計幹事より，2023 年 2 月 17 日時点での，支部事業単独での単年度収支を含む支部会計中間報告がなされた。
3. 第 72 年会進捗状況（実行委員長 戸田）資料
戸田会実行委員長（常任幹事）より，第 72 年会準備状況が報告された。ウェブサイト公開，スケジュール，シンポジウム，講演分類案などが提示された。
4. 本部理事会報告（理事 黒田）資料
黒田理事（常任幹事）より，資料にもとづき，2022 年 12 月 13 日に実施された第 5 回理事会の報告がなされた。本部の収支・キャッシュフロー，次期会長内定，ウェブサイト委託，年会・討論会準備状況などに関する議論が報告された。また，年会・討論会の規定（貸付金返済期限など）や有功賞・功労賞の規定改定などが報告された。
5. 各誌編集委員会
1) Analytical Sciences（編集委員 末田）
末田編集委員より，「Analytical Sciences」誌の現状が報告された。「Analytical Science」誌への投稿，および他誌への投稿記事における Analytical Sciences 掲載記事の引用が呼びかけられた。
2) 分析化学（編集委員 森）
森編集委員より，「分析化学」誌の編集状況が報告された。「分析化学」誌への投稿について，および，特にレビューや若手初論文の投稿先として検討するよう，呼びかけられた。
3) ぶんせき（編集委員 野間，代理・神崎）資料
野間編集委員の代理として，庶務幹事より，資料にもとづいて「ぶんせき」誌の編集

状況が報告された。

6. その他

1) 2024 年度以降の夏季セミナーについて（世話人 野間・宗）資料

野間・野間世話人の代理として、庶務幹事より、日本分析化学会九州支部若手の会夏季セミナーに関するオンライン会議の結果報告がなされた。

議題（担当者；敬称略）

1. 2023 年度支部事業計画案（支部長 富安・庶務幹事 神崎）資料

神崎庶務幹事より、2023 年度の事業計画について諮られ、承認された。なお以下の事業については資料にもとづき詳細な計画が提示された。

1) 第 60 回化学関連支部合同大会（次期庶務幹事 江藤）資料

第 60 回（2023 年度）の依頼講演など含む実施要領が提示された。また、第 61 回（2024 年度）は 6 月 29 日の日程（北九州国際会議場）で実施予定であること、第 62 回（2025 年度）は日本分析化学会九州支部が幹事学会であり、6 月 28 日または 7 月 5 日の日程で北九州国際会議場を仮予約していることが紹介された。

2) 第 41 回九州分析化学夏季セミナー案（世話人 佐藤）資料

第 41 回九州分析化学夏季セミナーの実施要領が提示された。参加者を 100 名に制限したうえで、従来の対面形式に戻し、北九州市で開催する予定であることが紹介された。またその際、宿泊費用は宿泊施設に参加者が直接支払いし、支部事業費としては参加費のみを計上する予定であることが提示された。このことによって支部の総事業費を削減できるが、現在のところその直接的な動機は薄いため、2024 年度以降の形式は世話人に委ねることが確認された。

3) 第 61 回分析化学講習会（実行委員長 富安）資料

第 61 回分析化学講習会（2023 年度）の実施要領が提示された。2019 年度以前の対面形式をもとに実施予定であること、またそれに向けて、3 月中に実行委員会が開催される予定であることが紹介される一方、事務局が会場から離れているため、実際の運営は現地の委員に頼らざるを得ないことも提案された。また OPACK との共催の経緯や、講習会の会計の扱いについても議論がなされ、継続審議となった。なおこのような事業実施に係る裁量は実行委員会にあり、収支を含めた実施の責任は支部にあることが確認された。

2. 2023 年度支部予算案（会計幹事 児玉谷）資料

児玉谷会計幹事より、2023 年度の予算案が諮られ、承認された。会議費の圧縮によって繰越金が増加傾向にあること、特に 2023 年度は年会の収入もあって繰越金が大幅に増えるため、目的基金を設立して積み立てることが提案された。2026 年が日本分析化学会九州支部創立 70 周年に当たるため、このための基金とする意見があった。

3. 2023 年度支部・本部関係役員（庶務幹事 神崎）資料

神崎庶務幹事より、2023 年度支部・本部関係役員案が示され、了承された。常任幹事に変更がある場合は連絡するよう依頼された。

4. 支部役員の変更（庶務幹事 神崎）資料

神崎庶務幹事より、支部役員の変更案が示され、承認された。

5. その他

1) 2023 年度支部役員名簿 **資料**

神崎庶務幹事より、2023 年度支部役員名簿の確認および名誉教授等の情報提供が依頼された。